



平成30年11月5日

各 位

上場会社名 広島電鉄株式会社
 代表者 代表取締役社長 椋田 昌夫
 (コード番号 9033)
 問合せ先 取締役 経営管理本部長
 岡田 茂
 (TEL 082-242-3542)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年5月14日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成31年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,110	360	340	310	10.22
今回修正予想(B)	19,677	199	183	171	5.65
増減額(B-A)	△432	△160	△156	△138	
増減率(%)	△2.1	△44.4	△45.9	△44.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	20,094	536	547	584	19.28

平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	39,990	△160	△210	880	29.02
今回修正予想(B)	36,440	△710	△720	430	14.18
増減額(B-A)	△3,550	△550	△510	△450	
増減率(%)	△8.9	—	—	△51.1	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	40,252	△225	△222	855	28.22

修正の理由

平成31年3月期第2四半期(累計)連結業績予想につきましては、平成30年7月豪雨により、国道等の通行止め等に伴う、当社および連結子会社の運営するバス路線の一部における運休や臨時ダイヤによる減便運行などが約2ヶ月続いた影響のほか、宮島来島者数の減少やレジヤーターの手控えなどの影響により、主に運輸業において売上高が前回予想を下回る見込みであります。また、原油価格の上昇に伴い、運輸業における燃料費が予想を上回る見込みであり、流通業において、平成30年9月26日を以てマダムジョイ5店舗全店の営業を終了したことによる、売上高の減少や閉店及び事業終了に伴う費用が発生する見込みであります。

以上の理由により、連結売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益において、平成31年3月期第2四半期(累計)連結業績予想を修正いたします。

また、通期の業績予想につきましては、売上高については、上述の第2四半期までの豪雨災害の影響や、不動産における分譲宅地の販売区画数の下ぶれも懸念されるほか、ストア業の事業譲渡による売上高の大幅減少の影響もあり、総じて前回予想を下回る見込みであります。ストア業の事業譲渡による売上高の大幅減少は売上原価の大幅減少も伴い、営業利益に与える影響は軽微であるものの、原油価格の上昇による運輸業の燃料費増加が懸念されることや、不動産において賃貸物件の一部修繕工事が第3四半期以降にずれ込んで実施することによる修繕費の増加も見込まれるため、営業利益が前回予想を下回る見込みであり、連結売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を修正いたします。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上